



向陽学府小中一体校

「日本一やさしさが育つ学校」の実現に向けて

一体校整備コンセプト：『日本一やさしさが育つ学校』
地域の人やモノ、コトとのつながりやかかわりを通して、
子どもたちにやさしさを育てていくことができる9年間の
新カリキュラムをもつ多機能型の学校を目指しています。



グラウンド側から見た外観イメージ

「向陽学府小中一体校」は、令和2年度に「向陽学府新たな学校づくり検討会」での協議を経て、基本構想・基本計画を策定し、令和3～5年度にかけて建設に向けた設計を進めています。

この度「向陽学府小中一体校建設検討会」及びワークショップ「みんなで作る！向陽学府未来会議」での意見交換・議論を踏まえた検討をもとにまとめた「向陽学府小中一体校の基本設計」についてお知らせします。

《施設概要》

- 新校舎棟：普通教室（通常学級27学級、特別支援学級10学級）
特別教室（ラーニングセンター、理科室3室、外国語教室、多目的教室）
管理諸室（校長室、教職員室、サテライト教員室、ランチルーム、保健室他）
体育諸室（サブアリーナ、屋上ひろば）
- 既存校舎：特別教室（音楽室2室、図工室、美術室、被服室、技術室）
- みんなの家：地域連携室、福祉交流支援室、放課後児童クラブ室
- 屋内運動場：メインアリーナ 武道場：武道場、駐輪場、部室



南西側から敷地全体を俯瞰したイメージ

※本資料で描写された絵、図版は基本設計段階のイメージです。
今後の実施設計・建設段階で変更となる場合があります。

『向陽学府小中一体校建設検討会』について

◆ 検討会の目的

児童生徒の実態、地域の特徴や向陽学府の将来像を考慮し、施設配置・機能・内容等の向陽学府小中一体校の基本設計について教育委員会に意見を述べることを目的として開催されました。



◆ 検討会のメンバー（計22名）

- ・学識経験者：千葉大学大学院工学研究科教授（委員長）
- ・保護者代表者：各小中学校・こども園・幼稚園のPTA代表
- ・住民組織代表者：向陽学府の各地区長／地域づくり協議会長、住民代表
- ・教職員代表者：向陽学府の小中学校長、こども園長、幼稚園長、向陽学府コミュニティ・スクール・ディレクター
- ・県教育委員会義務教育課指導監

◆ これまでの開催経過

- 第1回検討会 令和4年2月24日（木）
・委嘱状交付・プロポーザル企画案説明等
- 第2回検討会 令和4年4月11日（月）
・ワークショップの報告
・配置（駐車場／プール等）について
- 第3回検討会 令和4年5月30日（月）
・ワークショップの報告
・学習空間（ラーニングセンター、学年 commons 等）について
- 第4回検討会 令和4年7月25日（月）
・ワークショップの報告
・基本設計案について

『みんなで作る！向陽学府未来会議』ワークショップ

向陽学府の3つの地区・学校の代表者と各校の児童・生徒の代表者が集まり、新しい学校づくりと学府の未来について議論するワークショップを実施しました。

各地区を会場に計3回行われたワークショップでは、各世代の参加者が同じテーブルを囲み、活発な意見交換が行われました。この成果を今後の施設整備や学校運営、地域づくりに繋げて行きます。



第1回テーマ

向陽学府の特色を考えよう！

日時：令和4年3月29日（火）
会場：大藤交流センター視聴覚室
人数：27名
概要：向陽中・大藤小・向笠小・岩田小の4つのチームに分かれて、「現状の学校の課題と未来に残したいこと」について話し合い、発表しました。

第2回テーマ

未来の学びの場を考える

日時：令和4年4月23日（土）
会場：向笠小学校ランチルーム
人数：26名
概要：「学年 commons」と「ラーニングセンター」のあり方や活用について、授業・休み時間・イベント時それぞれの視点でアイデアを出し合いました。

第3回テーマ

日本一やさしさが育つ学校

日時：令和4年5月21日（土）
会場：岩田交流センター大会議室
人数：27名
概要：新しい小中一体校の特徴である「地域連携室」「福祉交流支援室」を中心に、地域と学校のつながりを強める企画書を各班でまとめ、発表しました。

今後のスケジュール（予定）について

開校時期については、今後の社会情勢等の影響により変更となる場合があります。

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
基本設計	実施設計			
	先行工事 仮設校舎の建設工事、 既存校舎の解体工事等	新校舎棟建設工事・既存改修工事		
				開校 既存校舎の解体工事 みんなの家の建設工事等

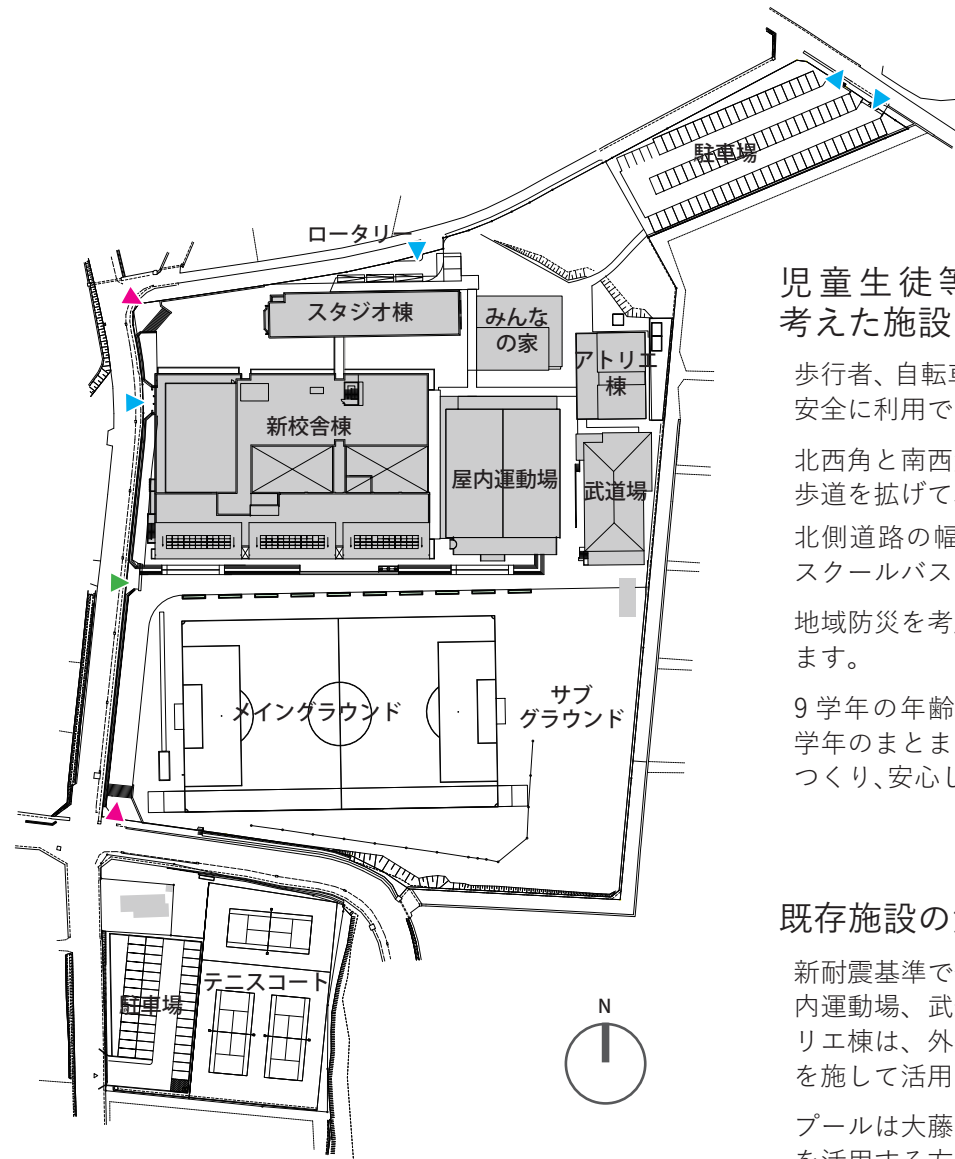
※学校活動への配慮等：向陽中学校の既存施設を使いながらの工事となるため、仮設校舎利用の最小化や安全な利用動線、工事騒音対策などを今後検討してまいります。



コスモス：向陽学府を代表する花

磐田市 教育委員会事務局 教育部
教育総務課 学府一体校推進室
〒438-8650 磐田市国府台3-1
TEL 0538-37-2115 FAX 0538-36-1517

配置計画



児童生徒等の安全・安心を考えた施設

歩行者、自転車、車の出入口を分けて、安全に利用できる学校とします。

北西角と南西角に位置する交差点の歩道を拡げて、安全性を高めます。

北側道路の幅員を4～7mに拡幅し、スクールバス・車の通行に配慮します。

地域防災を考慮した学校づくりを行います。

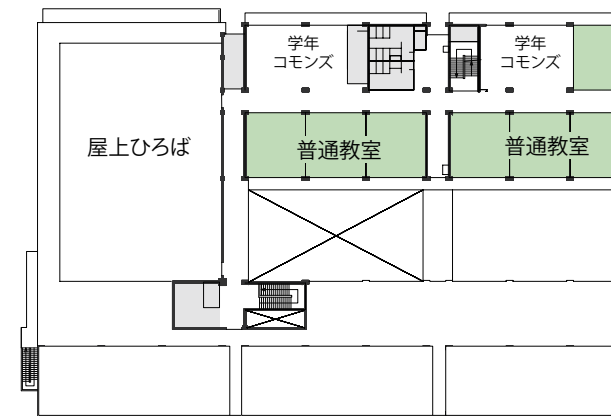
9学年の年齢差・体格差を考慮して、学年のまとまりや、複数の活動の場をつくり、安心して学べる学校とします。

既存施設の活用を検討

新耐震基準で作られた築年数が浅い屋内運動場、武道場、スタジオ棟、アトリエ棟は、外壁・屋根等の長寿命改修を施して活用します。

プールは大藤小学校の既存屋外プールを活用する方針とします。実際の運用は、開校に向けて継続して検討します。

4階



児童生徒、地域、教職員のつながりの深化を創出する施設

児童生徒の学び合い・交流を育む場の中心としてラーニングセンター（学校図書館）、ランチルームを設けます。

向陽学府の地域・学校のつながりを強める拠点＝「みんなの家」（地域連携室・福祉交流支援室等）を整備します。

教職員室は3階にもサテライトを設けて、児童生徒に目が行き届きやすく、小中連携が図りやすい計画とします。

児童生徒の心のゆとりを生む快適な施設

新しい学校には、緑・光・風といった自然を感じることができる、学年コモンズに隣接したテラスや、屋外活動スペースを用意します。

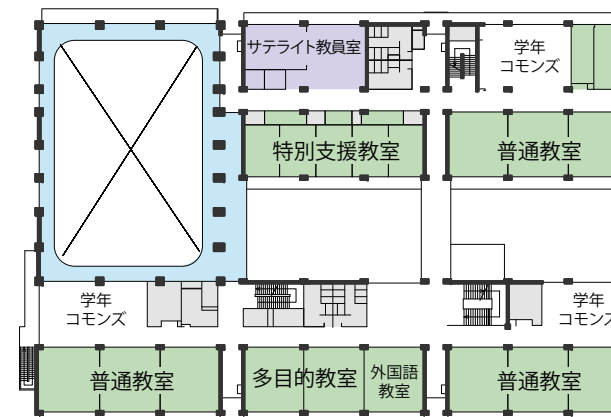
中庭のある明るいラーニングセンターは、一人でもグループでも、誰もが等しく快適に過ごせる学び場とします。

学級数の変動や多様な学習に対応する多機能で柔軟な施設

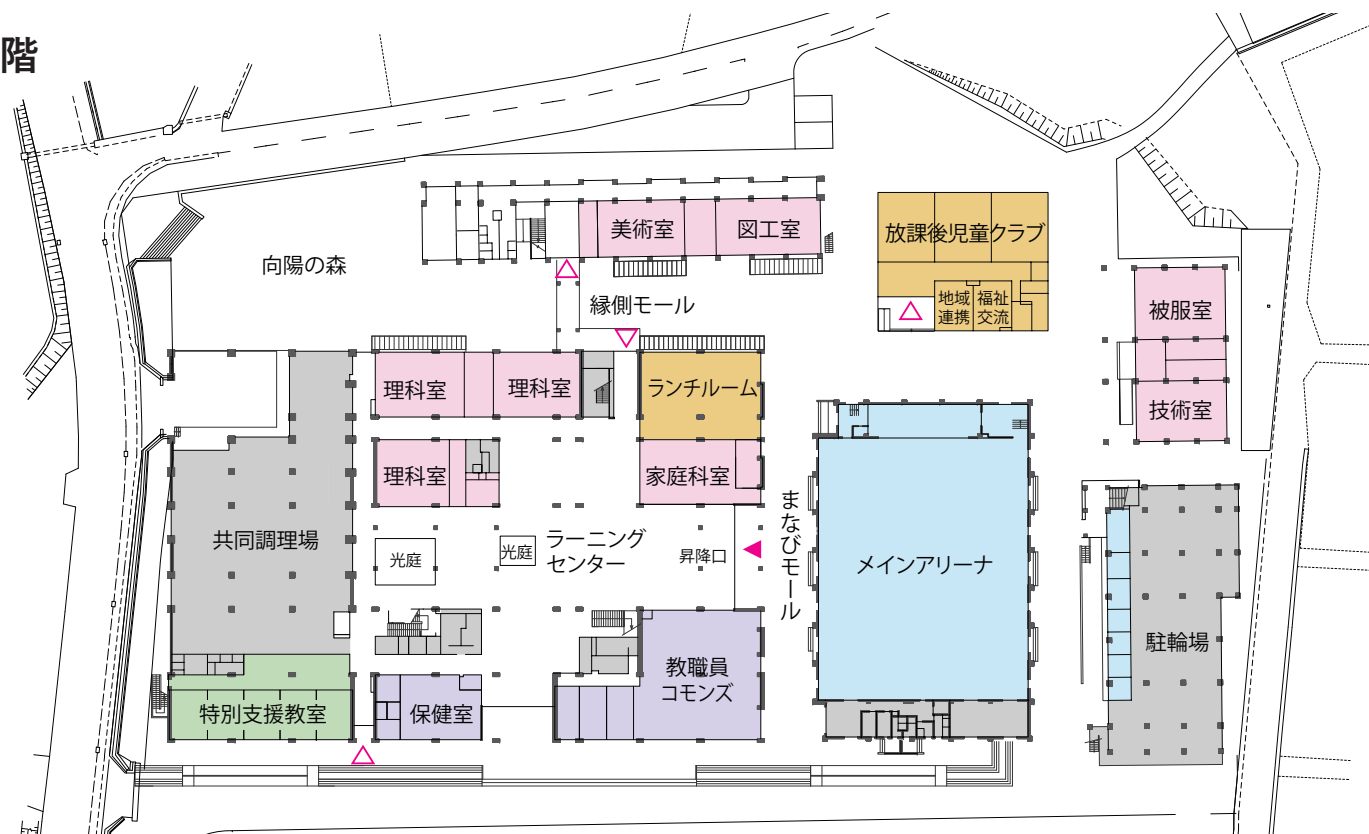
各学年の学習や交流を支援する共同の場＝学年コモンズを整備します。

各階に多目的教室を配して、学級数の変動などに対応できるフレキシブルな学校とします。

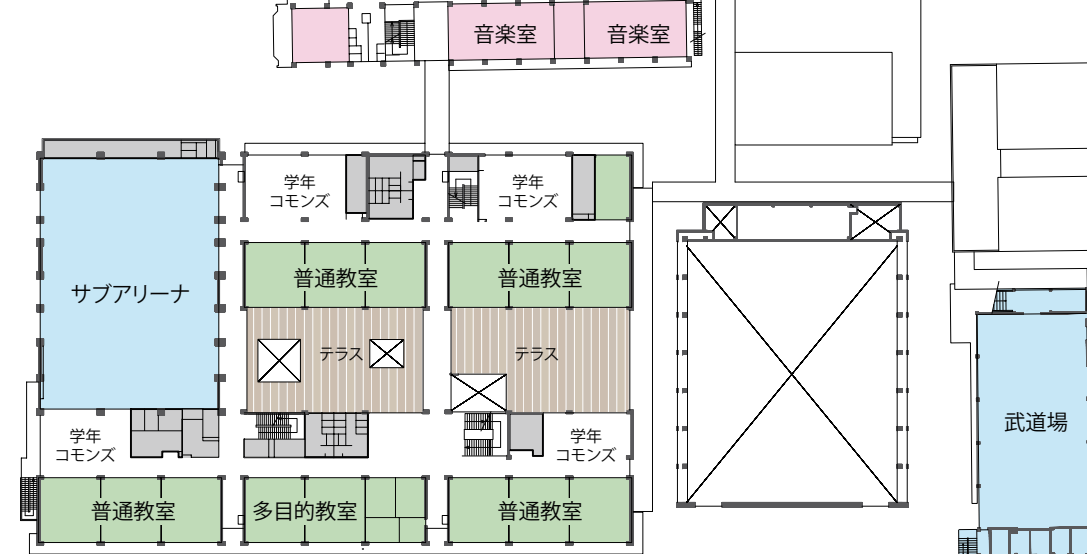
3階



1階



2階



普通教室 特別教室 多機能型施設 管理室 運動 その他